

「クリーンエネルギー戦略」に関する有識者懇談会

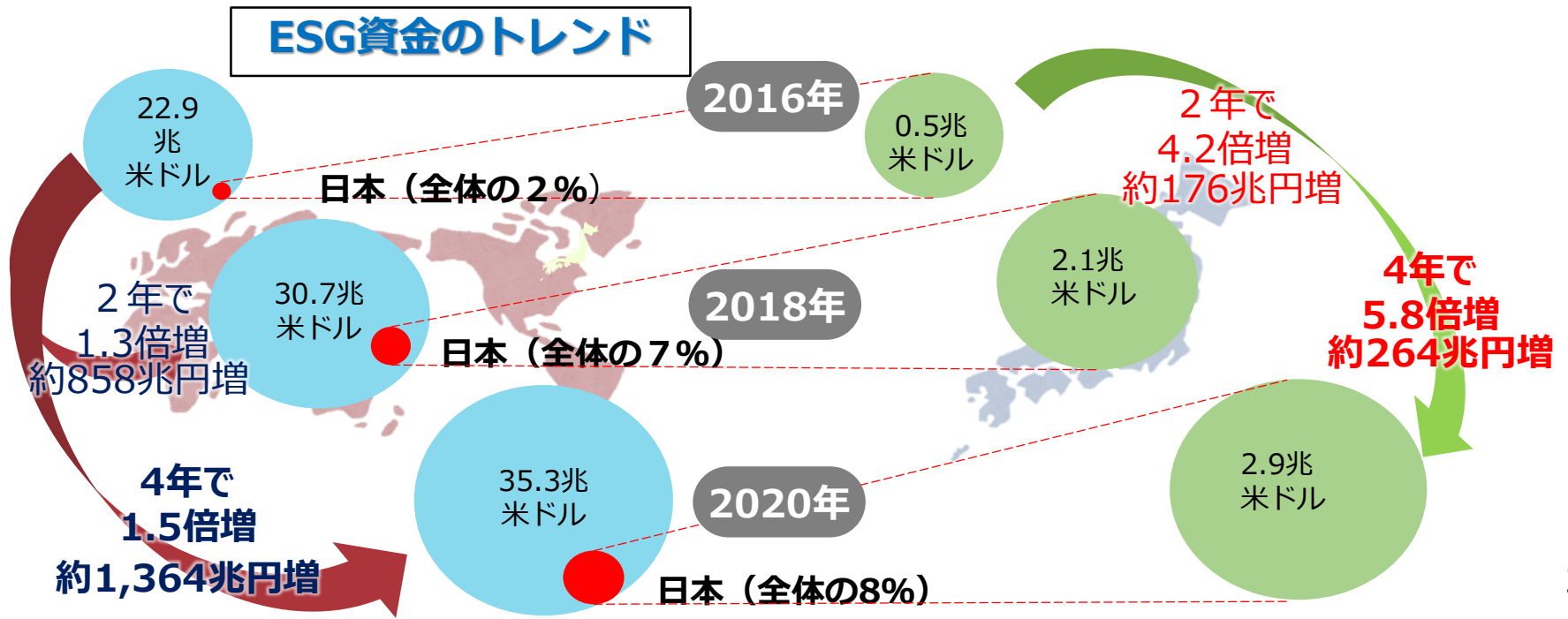
新しい資本主義の実現に向けた
地域脱炭素の取組と世界への貢献

令和4年1月18日

環 境 省

新しい資本主義における「環境」と「脱炭素」

- 新しい資本主義のもと、2030年目標の達成、2050年炭素中立社会への移行に向けて、**経済社会を変革する「イノベーション」が不可欠であり、我が国をバージョンアップさせる鍵**
- **移行のための投資額を含む、グランドデザインをはっきり示しつつ、コンセンサスを形成し、**そのような青写真を実行することにより、**世界のESG資金を呼び込み、**脱炭素に向けて経済社会を革命的に変革
- このような文脈の中で、**カーボンプライシングについても、全国の関係者ときめ細かに議論を進め、方向性を見いだしていく**



地域脱炭素に向けた取組

- 環境省では、2030年までに**100カ所以上の脱炭素先行地域を実現し、全国に脱炭素ドミノを起こしていく**
→ **「地域の活性化をカーボンニュートラルで」**（経済活性化・雇用創出、災害時のレジリエンス、快適な暮らし）
 - 今国会に、脱炭素の取組に**民間資金を呼び込む出資金制度の創設**等を盛り込んだ**地球温暖化対策推進法の改正案**を提出。**自治体を後押しする交付金の創設**をめざす
 - 春に脱炭素先行地域第一弾を選定すべく、来週から募集を開始。2025年度まで順次選定
 - 地域のニーズ把握と更なる理解醸成に向け、**政務三役全員による全国行脚を開始**
- ⇒ **現場の声**も踏まえながら、**地域の脱炭素と町おこし**を両立、**人々の幸せの実現を支援**

2020

2025

2030

2050

5年間の集中期間に
政策総動員

①資金（予算・出資等）

②情報・技術

③人材

等の面から地域を積極支援

100カ所以上の
脱炭素先行地域創出

全国津々浦々で
重点対策を加速的に導入

脱炭素社会を
全国で実現

世界の脱炭素化への貢献

- 昨年のCOP26で、パリ協定の実施ルールが完成。**1.5℃という世界共通の目標に向け、あらゆる国と地域で脱炭素に向けた動きが本格化**
- **「アジア・ゼロエミッション共同体」**に向けて、JCMも活用しながら、我が国の経験と技術を「日本モデル」として、アジアを中心とする途上国に展開、有志国を募っていく

COP26の成果のポイント

- 国際的な市場メカニズム含め、パリ協定実施ルールが完成
- 今世紀半ばのカーボンニュートラル及びその経過点である2030年に向けて野心的な気候変動対策を各国に求めることを決定



COP26で演説を行う岸田総理

1.5℃に向けた早期大幅削減へ

特に、**成長著しいアジアの脱炭素化が「鍵」**

(日本としての貢献の例)

- 日本の経験・技術を活用し、途上国の計画策定を支援
- 二国間クレジット制度（JCM）等による民間プロジェクト形成、途上国政府の体制整備や能力構築を支援
- 日本とアジアの都市間連携により、脱炭素化を支援

「日本モデル」をアジアに展開

- ⇒ **アジア・ゼロエミッション共同体に向けて有志国を募っていく**
- ⇒ **世界の排出削減への貢献と我が国の成長につなげていく**